

まとまった降雨により、表層では塩分が低くなっています。

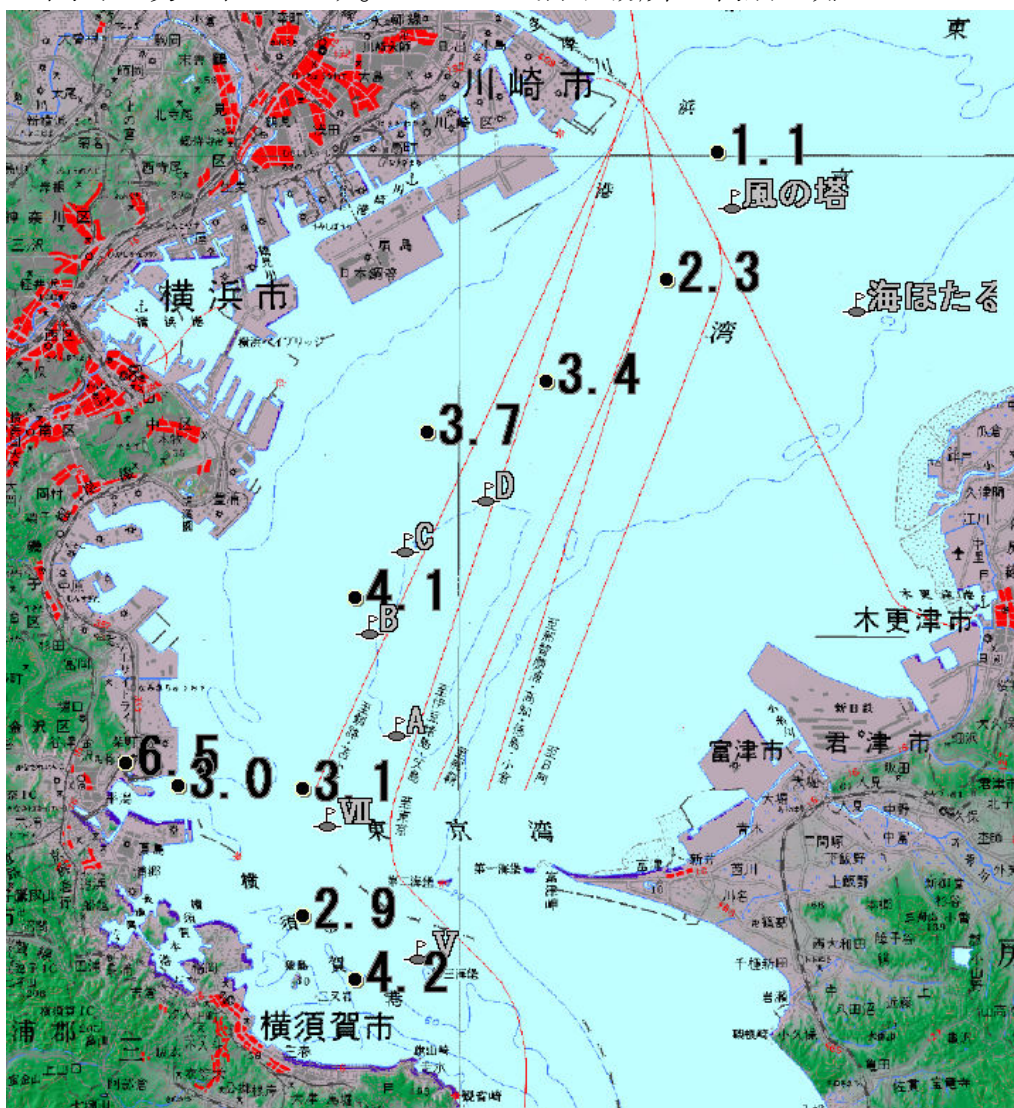
# 東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター

2010/07/20

神奈川県小型機船底びき網漁業者協議会が  
横浜市漁協柴支所の元五郎丸により東京湾調査を実施しました。

- 水温は、表層で26~27℃台、底層では17~18℃台です。
- 塩分は、表層では26~29台と低めです
- 底層の高塩分水は後退（南下）した模様です。
- 貧酸素水塊（ $\leq 2.5\text{ml/l}$ ）風の塔の南北で見られました。
- 八景島脇でも底層の酸素量が低下気味です、表面近くあるいは港内では、酸素はあっても水温は高く塩分は低いです。あなごの活け場所の判断が難しいところです。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター  
資源環境部 電話 046(882)2313

上下の水温・塩分差が大きいです。  
漁獲物の取り扱いにご注意ください。